

開催のご案内

感染症対策啓発セミナー (感染症をどう防ぐか・3回シリーズ)

— シリーズⅡ:最近の感染症の動向 — 社会福祉法人・団体・マスコミに向けて

開催日時 : 平成 21 年12月8日(火) 13:00—16:00

会 場 : 学士会館(東京・神田) 202 号室

開催趣旨

エイズなどの新しい病原体による感染症の出現を契機に世界保健機関は、1993 年に「人類は未だ感染症の脅威にさらされている、病原微生物の新たな挑戦に緊急に対処しなくてはならない」との警告を世界に発した。

その警告を裏付けするかのようになり、近年、重症性呼吸器症候群(SARS)などに代表される新しいウイルス性感染症が出現しており、世界各国は 21 世紀の国際上の感染症として、その対策に努力を傾けている。その中でも、最近新型インフルエンザの世界的流行が最も懸念されており、一度発生するとこれまでにない重大な被害が予想されることから、国際的なレベルでその対応策が真剣に取り組まれている状況である。

わが国においても、新型インフルエンザ対策行動計画など厚生労働省が中心となって、行政レベルや関係機関で対策が積極的に進められており、その成果が期待されているところである。

上記の感染症の実態をふまえ、当研究会は、一般社会への感染症対策に微力ながら寄与すべく「バムサ感染症対策啓発事業」として、感染症対策啓発セミナーを3回シリーズで開催することにした。

今回のシリーズⅡは社会福祉法人・団体の組織集団における対策および情報の媒体を担うマスメディアを対象とした新型インフルエンザ対策や食中毒予防などのセミナーを企画し、それぞれの機関等での対策を図るための参考に供することを旨とするものである。

特定非営利活動法人
バイオメディカルサイエンス研究会
理事長 小松 俊彦

■ バイオメディカルサイエンス研究会の概要については別紙をご参照下さい。

感染症対策啓発セミナー

(感染症をどう防ぐか・3回シリーズ)

— シリーズⅡ:最近の感染症の動向 — 社会福祉法人・団体・マスコミに向けて

- ◆開催日時 : 平成 21 年12月8日(火) 13:00—16:00
- ◆会場 : 学士会館(東京・神田)202 号室
東京都千代田区神田錦町 3-28
TEL. 03-3292-5936(会館フロント)
- ◆定員 : 100 名
- ◆参加費 : 3,000 円
- ◆主催 : 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
(通称:バムサ)
- ◆申込方法 : 同封の参加申込書にてお申し込み下さい。

プログラム

司会進行: 増田 剛太 (バムサ・常任理事)

時間	内容	講師
13:00—13:10 (10分)	開会挨拶	小松 俊彦 (バムサ・理事長)
13:15—14:00 (45分)	講座 1 新型インフルエンザウィルスの 感染・発症の成り立ち	鈴木 康夫 静岡県立大学 名誉教授
14:10—14:55 (45分)	講座 2 新型インフルエンザ行動計画 (H1N1インフルエンザ対策について)	中嶋 建介 厚生労働省 健康局結核感染症課
15:05—15:50 (45分)	講座 3 日本で警戒すべき感染症	岡部 信彦 国立感染症研究所 情報センター長
15:55—16:00 (5分)	閉会挨拶	木ノ本 雅通 (バムサ・専務理事)

■ プログラムは都合により変更される場合があります。予めご承知おきくださるようお願い申し上げます。